

①益田市長沢町において、スイングヤーダを用いたスラックライン集材研修会を実施しました！

令和6年5月24日(金)に益田市長沢町地内の山林において、高津川流域林業活性化センター主催のスイングヤーダを用いたスラックライン集材研修会を実施し、当事務所の職員も集材に関する事例報告を行いました。研修会には、林業事業体、森林組合、行政担当者等、合計41名の関係者が参加し、林業公社職員によるスラックライン集材についての説明の後、株式会社美都森林によるスイングヤーダを用いた実演が行われ、実際の作業での事例や体験談を交えた実践的な内容の研修となりました。

島根県では、林業での原木生産のコスト低減に取り組んでおり、コスト低減対策の一つとして、架線集材の効率化を推進しています。今回の研修会で実演されたスラックライン式の集材は牽引力が強く、この方式を導入することにより、近年課題となっている大径材の集材が可能となり、集材の作業効率も向上することが期待されています。



説明の様子



現地研修の様子

①吉賀高等学校で林業学習を行いました！

令和6年6月5日(水)、7日(金)の2日間に分けて、吉賀高等学校2、3年生生徒5名を対象に林業学習を行いました。

5日には、島根県の林業に関して益田事務所の職員が講師になり高校で座学を受けました。

7日には、伸共木材協同組合吉賀町内の山林でチェーンソーでの造材体験と、ハーベスタによる造材体験を行いました。まず、現場では実際の架線集材を見てから、講師からチェーンソーの使い方を学び、実際に造作している4mの丸太に造材する体験を行いました。ハーベスタでの造材体験では、1人1本全木状態から、4mの丸太への造材を体験していただきました。

生徒からは、「機械の操作が楽しかった。いい時間だった」「貴重な体験ができた」等の感想があり、林業について詳しく知らなかった生徒も林業学習を通して、林業に関して興味が湧いていたようでした。



チェーンソー体験の様子



ハーベスタ体験の様子

①益田市安富河成開発センターにおいて、サル対策研修会を開催しました！

令和6年7月13日(土)に益田市安富町において地域ぐるみのサル対策研修会を開催し、当事務所の鳥獣専門指導員が講師を務めました。当日は、約10名の地元住民の方々に参加いただき、サルの生態や被害の特徴、効果的な侵入防止柵や追い払いの手法等について説明を行いました。座学での説明の後、集落の広域地図を見ながら、実際に被害や出沒があった地点を確認し、現地を見て回る集落点検を実施しました。

実際に集落を見て回ると、サルが出沒しやすい箇所やサルを引き寄せる誘引物となっているもの、熱心に防除を行っている圃場など、集落内の様々な情報を共有することができ、参加者は熱心に見回っていました。

今回の研修会を契機とし、被害対策マップを作成、更新して地域にフィードバックを行ない、集落内で合意形成、地域住民で協力して集落ぐるみで被害対策を推進することによって、農作物被害を軽減していけるよう支援を実施していきます。



説明の様子



集落点検の様子

②益田翔陽高校で林業学習を開催しました！

令和6年7月4日(木)に、益田翔陽高等学校総合学科3年生13名を対象に、林業学習を実施しました。

今回の林業学習は、前半に林業に関わっている方との意見交換会、後半はチェーンソーを使用した丸太切り体験を行いました。

意見交換会では、林業従事者からどうして林業を選んだか、実際に仕事をして、やりやすいところ、大変なことなどをお話いただきました。

チェーンソー体験では、林業従事者の方からチェーンソーの操作方法や丸太の切り方を教えてもらいながら、1人ずつ切ってもらいました。

参加した生徒からは、「チェーンソーは初めて触ったが、上手にできた」「いい経験になった」という感想がありました。

これまで林業に馴染みのなかった生徒が多かったですが、この機会に興味関心を持ってもらえたらと思います。



意見交換会の様子



チェーンソー体験の様子

①益田翔陽高校が、農林大学校林業科を訪問しました！

令和6年8月26日(月)に、益田翔陽高校2年生14名が島根県立農林大学校林業科(飯南町)を訪問し、林業学習を行いました。

農林大学校の説明を受けた後、同校の寮など施設を見学しました。施設見学では、高性能林業機械や、伐倒練習機の紹介がありました。

その後、4グループに分かれ、「高性能林業機械操作体験」「チェーンソー体験」「ドローン操作体験」「VR体験」の4つについて、順に体験しました。

生徒からは、「(高性能林業機械の操作をして)こういった大型建設機械の操作をするのは初めてだった」などの感想がありました。

生徒たちにはこの一日を通して、楽しみながら林業に関して興味関心を持ってもらえたと思います。



ドローン操作体験の様子



高性能林業機械操作体験の様子

①益田高等学校が、林業学習を実施しました！

令和6年10月8日(火)に、益田高等学校の1年生12名が林業学習を行いました。午前中は高津川森林組合で林業や森林施業に関する講座を受けました。講義の中では高津川森林組合が実施する再造林への仕組みや森林整備の内容やICTやドローン活用について学びました。講義の後、生徒たちは実際にドローンを飛ばし、手元の画面でどう見えるかなどお互いで話しながら体験していました。午後には(株)伸和産業の本社工場に移動し、まずそこでチップー機の仕組みについて説明を受けた後、実際に材が投入される様子からチップが出てくる場所まで見学しました。その後、臨空ファクトリーパークへ移動し、工場の見学をした後に若者に魅力ある職場づくりと題した講義を受けました。参加した生徒は林業に関して興味関心を高めてもらえたと思います。



林業に関する講義の様子



チップ工場の様子

②益田翔陽高等学校が、林業カフェを実施しました！

令和6年10月17日(木)に益田翔陽高校1年生35名が、林業カフェを行いました。林業カフェでは、高津川森林組合、伸共木材協同組合、株式会社美都森林から合計6名の林業の現場で活躍する方を講師にお招きし、意見交換会とチェーンソー体験を実施しました。意見交換会では、講師の方から林業を選んだ理由、実際の出勤時間やライフスタイルなどの話があり、まだ将来の決まっていない生徒も多く、進路選択の話は生徒も興味深そうに聞いていました。チェーンソー体験では初めてチェーンソーを操作する生徒も講師を手本にして物怖じすることなく取り組んでおり、体験後は「緊張したが、おもしろかった」という意見が聞こえました。これまで林業に馴染みのなかった生徒が多かったと思いますが、この機会に興味関心を持ってもらえたらと思います。



意見交換会の様子



チェーンソー体験の様子

③益田翔陽高等学校が、林業学習(製材工場見学)を実施しました！

令和6年10月24日(木)に益田翔陽高校の総合学科の3年生13名が高校生の林業学習の一環として、(株)佐々木馬一商店豊川工場の見学を行いました。

学校で木造建築に関する簡単な講義を受けた後、生徒はバスで(株)佐々木馬一商店豊川工場へ移動しました。

まず、豊川工場では会社概要や会社がどのような製品を作っているかなどを(株)佐々木馬一商店の方から説明いただきました。その後、工場内の乾燥機やボイラー、製材ラインを見学しました。

参加した生徒は初めてみる工場の機械やさん積みされた木材を賑やかに見学していました。

今回林業学習を行った生徒たちは、7月に林業カフェで林業やチェーンソー体験をしており、2回目の林業学習になります。11月には自分たちで木材を使用する学習を予定しています。

今後も本学習を通して、林業木材産業への興味をもってもらえるよう努めていきます。



製材工場見学の様子

④益田翔陽高等学校が、現場での林業学習を実施しました！

令和6年10月31日(木)に益田翔陽高校の2年生14名が現地での林業学習を行いました。午前中は(有)石州造林を講師として、津和野町中座の伐採現場で、ハーベスタの操作体験とチェーンソーによる丸太切り体験を行いました。

本授業に参加した生徒は8月にもチェーンソー体験を行っており、落ち着いた様子で丸太切りを行っていました。

午後からは、益田県土整備事務所の方から治山林道の講座を受けた後、津和野町内の林道工事現場へ移動しました。

生徒たちは 昨年を含めると本学習で3回目の林業学習となります。中には林業へ就職することに興味を持った生徒もあり、今回の学習を含めて、生徒の興味関心を高めることができましたと幸いです。



伐採現場のチェーンソー体験



林道工事現場の体験

①桂平小学校でクマの勉強会を行いました！

11月18日（月）に益田市立桂平小学校にて「クマから身を守る研修会」を開催し、児童と教職員、地域住民合わせて28人の方に参加していただきました。

桂平小学校では毎年益田事務所の鳥獣担当が研修会を実施しておりますが、新入生2名を新たに加えて実施しました。研修会では、クマの生態や、地域でクマに出会わないようにできること、山の中で出会わないようにするために必要な準備、出会ってしまった時の対処法について説明しました。研修会では、児童たちは今までに学んだクマの知識や、身を守る方法について思い出しながら、質問に対して積極的に手や声上がる様子が見られました。今年は、クマの出没が多く原因となった誘引物や過去にあった誘引物を聞くと、「そんなものも食べるんだ。注意しないと」といった声が上がりました。

研修会は消防訓練のように毎年実施することで、地域に出てくるクマを減らすことへの意識や、クマと出会った際には落ち着いて対応できるようにすることが大切だと思います。



研修を受ける児童①



研修を受ける児童②

②益田翔陽高校の学生が木工体験を行いました！

11月21日（木）に益田翔陽高校の生徒12名が、島根県立西部高等技術校にて木工体験を行いました。

参加した生徒は総合学科の3年生で、今年度2回の林業学習を経て、林業や木材産業について学んでいます。今回の林業学習では木工体験として、実際に自分たちで木材を使用する取り組みを行いました。

生徒は事前にデザイン図を準備し、当日は西部高等技術校の職員を講師として、糸鋸や電動鋸を使用したカットやビス打ち、やすりでの仕上げを行いました。

参加した生徒からは「自分で作るのが楽しかった」「林業に理解が深まった」等の感想があり、3回の林業学習で生徒たちの林業・木材産業への理解、興味が深まったと感じました。



作業の説明



作業の様子

③林業省力化技術実証事業現地研修会が開催されました！

11月14日(木)に吉賀町の栴谷山国有林にて林業省力化技術実証事業研修会が開催されました。この研修会は、高津川流域林業活性化センターが、島根森林管理署と島根県と連携のもと主催し、県内の林業事業者、森林組合、行政関係者等から46名の方が参加されました。

原木生産や再生林の低コスト化を推進するため、ICT機器の活用による作業効率化を実証する目的で行われ、今回は、遠隔操作式伐倒機「シン・ラプトル」の紹介が行われました。開発会社である松本システムエンジニアリング(株)による機械説明の後、実演が行われました。この機械は、遠隔操作(リモコン)で立木を伐倒・搬送することができる無人作業車です。作業の安全性の向上と作業効率の向上、業務の軽労化対策が課題となる中で、参加者からは「機械に乗らず作業が出来るので事故防止に役立つ」「もっと実演を見たかった」「作業箇所の条件が合えば活用できる機械と感じた」など意見があり、関心の高さを感じました。今後、さらなる機械改良がなされることで、主伐等の促進が期待されます。



実演の様子



実演の様子

④循環型林業の先進事例から学ぶ研修会が開催されました！

11月26日(火)～27日(水)に、循環型林業の先進事例から学ぶ研修会が開催されました。研修は佐賀県伊万里市の(株)伊万里木材市場、中国木材(株)、唐津市のポラテック九州(株)の視察により開催され、林業事業者、木材市場、製材事業者、行政関係者など19名の方が参加されました。国産材スギの流通と集成材の安定供給を目的として設立された伊万里木材コンビナートを構成する、(株)伊万里木材市場、中国木材(株)、そして九州地域でプレカット事業を拡大しているポラテック九州(株)を視察し、原木調達からラミナ製材、集成材加工、プレカット加工、木質バイオマス利用の先進事例を学びました。参加者からは「木材市場が植栽の取り組みをしていることに感銘を受けた」「最先端の製材、加工技術による品質の高い製品づくりをしていた」などの感想があり、高津川流域での新たな取り組みの参考となりました。



木材市場視察の様子



工場視察の様子

①高津川流域林業活性化センター主催の講演会を実施しました！

2月7日(金)に益田合同庁舎にて講演会「僻地の製材所が生き残るために何を考え、何をしているか」を開催し、製材関係事業者と行政関係者合わせて52人の方に参加していただきました。

この講演会は地域の製材所として、幅広く事業を広げる株式会社nojimoku(三重県熊野市)代表取締役野地伸卓氏を講師に迎え、会社での取り組みを通じて製材、採材、木材利用等について学び、経営のヒントとしてもらうことを目的として実施しました。当日は大雪にも関わらず、製材所だけではなく、林業や建築関係等、幅広い分野の事業者が集まり、関心の高さがうかがえました。



講演風景①



講演風景②

②高津川森林組合にシカ対策研修を行いました！

2月20日(木)に高津川森林組合にて職員7名を対象に県内でのシカの出没・被害状況やシカの痕跡の見分け方、被害対策等についての研修を行い、益田事務所の職員が講師を務めました。

益田管内は県内でもシカの密度がまだ低く、被害もほとんど確認されていない状態ですが、シカが増えてきた場合に一番最初に被害が出るのが造林木であることもあり、組合員は熱心に聞き入っていました。シカを出来るだけ増やさずに効果的に捕獲対策を行うためには初期段階での出没や痕跡の情報を集めることが重要であることから、今後もこのような取組を継続していくことが大切だと感じました。



研修風景①



研修風景②